

技術情報シート

1. 技術の名称	廃棄物のガス化溶融システム(JFE 高温ガス化直接溶融炉)
2. 技術の内容	高温ガス化溶融炉は廃棄物の安全処理と資源利用という視点から作られた廃棄物の処理技術であり、2003 年に開始した商用プラント稼働以来 10 年以上にわたり着実に実績を重ねています。本技術は廃棄物をガス化するだけでなく、直接溶融することにより、最終処分が必要な炉底灰を排出せずに、再利用可能なスラグとメタルを生成する、より環境にやさしい廃棄物処理技術です。
3. 技術の概要	【技術の目的・用途】 コークスを活用して廃棄物を高温(Max.2,000℃)でガス化・溶融し、一気に有効利用可能なスラグとメタルに変えます。幅広いごみに適応できることが特長で、埋立てごみや焼却灰なども溶融してスラグに変えられるため、逼迫する最終処分場の再生にも貢献できます。またスラグの出滓には連続方式を採用することで従来の間欠方式に比べて安全で確実な運転が可能になります。 【技術の特長】 当技術は以下の特長を有しております。 ・幅広いごみ質に適応可能 ・熱量の小さい埋立場からの掘り出しごみや焼却灰、下水汚泥なども溶融可能 ・有効利用可能なスラグとメタルの生成 ・高度な排ガス処理 ・高効率発電 ・スラグの連続出滓方式採用により、従来の間欠方式に比べて安全で確実な運転 【実績】 ・クリーンヒル宝満 250t/日 (125t/日×2 炉) 4.9MW 2008 年 3 月竣工 ・福山リサイクル発電所 314t/日 (314t/日×1 炉) 20MW 2004 年 2 月竣工 ・イタリア アルバノ発電所 616t/日 (308t/日×2 炉) 33MW 建設中 全11プラント、22炉の建設実績 【価格又はその問い合わせ先】 ・海外事業本部 営業部 Tel: 045-505-7813、Fax: 045-505-7456
4. 技術の分類	
①用途分類	都市ごみ処理、産業系廃棄物処理、その他(医療系廃棄物・掘り起こしごみ)
②対象廃棄物	紙・段ボール、廃プラスチック、食品・生ごみ、建設廃棄物、廃タイヤ、医療系廃棄物、廃油、その他
③提供役務	プラント建設、機械・機器販売、技術提携・供与、その他
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	中国、東南アジア諸国、中東諸国、欧州諸国、北米・南米、豪州
6. 検索キーワード	都市ごみ、ごみ、ガス化、中間処理、発電、溶融、山元還元、掘り起こしごみ、ダイオキシン、バイオマス、乾留、RDF
7. 問合先窓口・担当者	JFE エンジニアリング株式会社 窓口:海外事業本部営業部 担当:黒岩綾子 連絡先:電話 045-505-7813 E-mail:kuroiwa-ayako@jfe-eng.co.jp